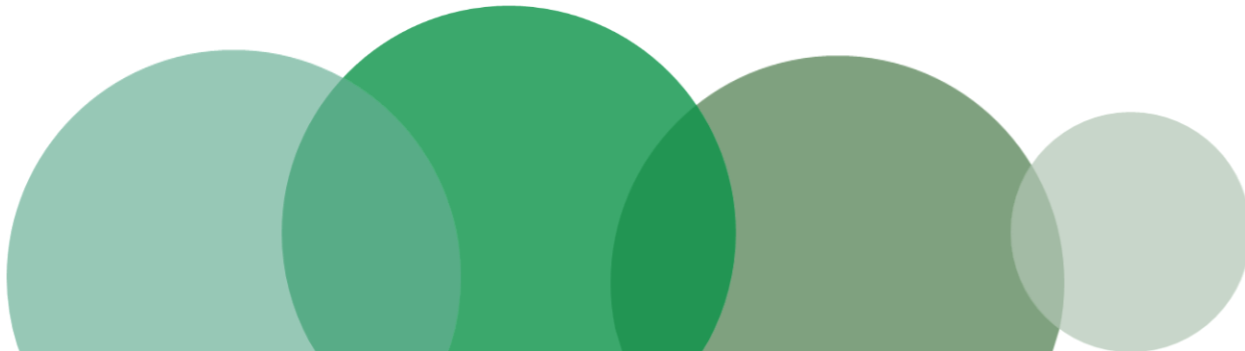


4.健康危機管理(災害・感染症)

受援を要する災害時の統括保健師の 取組について(都道府県編)

公開:2026年4月





本講義の狙い

- エピソードの主人公の行動や判断プロセスを通じて、受講者自身がこの立場であった場合、どのような行動や判断をすべきかについて検討することができる
- 受講者が所属する自治体や所属部署での災害発生時における受援に係る内容、課題や改善点を整理することができる

※本教材で紹介するエピソードは、複数の自治体へのインタビューをもとに作成したフィクションです。

※都道府県編として、都道府県の統括保健師等にスポットが当てられていますが、都道府県と市町村は互いに支援内容や役割を学ぶことが大切です。そのため、市町村に所属する方も積極的にご覧ください。

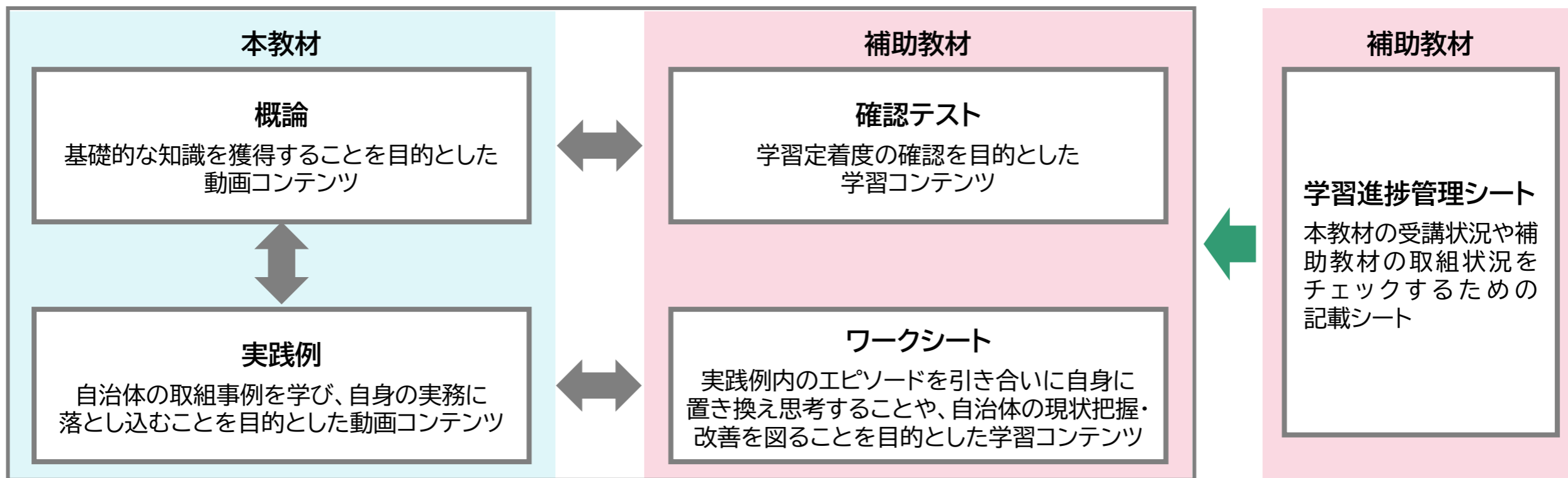
※本教材で紹介するエピソードは都道府県による市町村支援の一例であり、エピソード内の取組以外にも支援の取組はございます。

本教材とワークシートの関係性

本教材の学習のヒント

学習効果をより高めるために、「受講の手引き」に掲載している「ワークシート」への記入もしくは目を通してから本教材をご視聴いただくことができます。

もちろん、本教材視聴後に「ワークシート」に取り組んでいただくことでも学習効果は期待されます。



本講義の内容

● 関連する他コース・教材	4
● 用語の定義	6
● 登場人物・自治体紹介	7
● 本教材の着目ポイント	9
● 本編	10
● 自然災害(水害)発生と避難指示の発令	
● リエゾン保健師を被災地へ派遣	
● 県外からの応援派遣	
● 受援体制の構築	
● 受援の継続・終了	
● 【参考】受援の継続・終了を判断するための情報	
● 今後の備え	

関連する他コース・教材※

- 4.健康危機管理(災害・感染症)
- 4-3.健康危機に備えた計画策定等による体制整備
 - 災害時保健活動マニュアルによる体制整備について 14
 - 受援計画策定への保健師の関与について 15
- 4-4.健康危機管理におけるマネジメント
 - 健康危機管理発生時の対応 4
 - 管理期保健師に求められるマネジメント 6
- 4-5.受援方針の判断と指揮調整①
 - 災害時の短期応援における要請や受入れに係る心構え 5
 - 応援の種類 6
 - 受援体制の整備(平時の準備) 9
- 4-6.受援方針の判断と指揮調整②
 - 受援のプロセス(有事の対応) 5







※「自治体保健師のマネジメント能力向上のためのeラーニング」のコース・教材を指します。

用語の定義

用語	定義
総マネ	「保健所における総合的なマネジメントを担う保健師」を左記のとおり表記する。
保健師等チーム	「災害時に災害対応活動を行うことを目的として、被災した自治体以外に所属する保健師、公衆衛生医師、管理栄養士、その他の専門職、業務調整員等で構成されたチーム」を左記のとおり表記する。
リエゾン保健師	本エピソード内では、「自然災害が発生した市町村に赴き、情報収集、連絡調整、適切な助言等を行う都道府県保健師」を左記のとおり表記する。
災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)	「被災都道府県の保健医療福祉調整本部及び保健所の指揮調整機能等を支援するため、専門的な研修・訓練を受けた都道府県等の職員により構成する派遣チーム」を左記のとおり表記する。

登場人物紹介

● 主な登場人物

イラスト	登場人物	主な特徴
	主人公: A県庁の統括保健師	<ul style="list-style-type: none"> A県の本庁の健康福祉課に所属。統括保健師として勤務する、入職25年目の保健師。
	A県庁の保健師	<ul style="list-style-type: none"> A県の本庁に勤務する保健師。主人公と同じく健康福祉課に所属。
	A県内のリエゾン保健師 (管理的立場)	<ul style="list-style-type: none"> A県の本庁に勤務する保健師。主人公と同じく健康福祉課に所属。
	A県内のリエゾン保健師 (若手)	<ul style="list-style-type: none"> A県内のうち保健所以外の出先機関や本庁に勤務する保健師。
	市町村の統括保健師	<ul style="list-style-type: none"> 被災した市町村の統括保健師。
	保健師等チーム	<ul style="list-style-type: none"> A県の県外より派遣された保健師等チーム。

自治体紹介

- 自治体の特徴

種別	規模等
A県	<ul style="list-style-type: none">・ 県内には40の市町村と8つの県型保健所のほか、3つの保健所設置市があり、人口規模は比較的大規模。これまで自然災害において他県より応援派遣を受けた経験は無い。

本教材の着目ポイント



ポイント!

- 教材中のエピソードの各所でこの「ポイントマーク」が表示されることがあります。紹介するエピソード中で主人公がとった行動や判断プロセスを引き合いに「自分ならどうするか」といったことを考えていただきたい場面が表示されます。
- 「ポイントマーク」表示場面で考えていただきたい問いは以下の通りです。この問いは「ワークシート」にも掲載しておりますので記載しながら視聴を進めることも可能です。

- 保健師の参集人数の不足等により保健所が機能不全に陥った場合、あなたが主人公の立場ならどのような指揮・指示を出しますか。
- リエゾン保健師の派遣要否の判断にあたりあなたが主人公の立場ならどのような情報を収集しますか。
- リエゾン保健師の機能発揮に向けて、あなたが主人公の立場ならどのタイミングで、どのような後方支援を行いますか。
- 応援の終結を判断するために市町村と調整するにあたり、あなたが主人公の立場ならどのような情報を収集しますか、また市町村と認識や方針を揃えるにあたり何を留意しますか。

自然災害発生(水害)と避難指示の発令



主人公:A県庁統括保健師

- A県本庁健康福祉課の統括保健師
(入職25年目・課長補佐級)
- 県保健事業運営および関係機関との調整担当
- 3日前の台風上陸、温帯低気圧化、梅雨前線停滞
- 夜間の記録的豪雨と県内市町村での土砂・洪水特別警報
- 防災部局から災害・ライフライン・避難所情報が逐次報告

自然災害発生(水害)と避難指示の発令

各保健所と連絡はとれていますか。



主人公:A県庁統括保健師

連絡を取り始めていますが、この雨で運行を見合わせている公共交通機関が多く、保健師のほとんどが登庁できていません。総マネが登庁できていない保健所もあります。

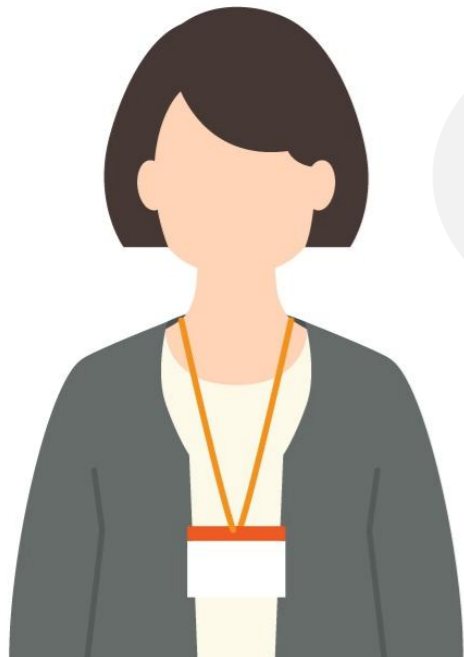
断水、停電が起きている保健所もあり、先ほど非常用電源に切り替わったばかりのようです。これから連絡等のためにPC等を起動するとのことで、各保健所かなり混乱しています。

建物の物的被害がある保健所は今のところ確認されていません。保健所には、安全確保に次いで市町村の状況確認をお願いしたところです。



A県庁の保健師

自然災害発生(水害)と避難指示の発令



主人公:A県庁統括保健師

自宅で被災された方に加え、道路、鉄道といった交通インフラによる影響、保育園や学校が休園・休校となり自宅から離れられないなど、様々な理由で出勤が難しい保健師がいました。

各保健所でこれまで災害時に備えた図上訓練や実践訓練等を行っていましたが、人員が揃った状況を想定した役割分担となっており、若手のみや少人数といった状況への予測が甘かったように感じました。

正直なところ保健所のなかには、若手保健師たちが早々に出勤できたもののみならず、まず何から取り組めば良いかわからず、先輩保健師の指示を待つという状態のところもありました。



ポイント!

各保健師には、自分だけが出勤する状況下になり得ることを想定した訓練でないと、実際には活かされないと強く思います。

リエゾン保健師を被災地へ派遣



主人公:A県庁統括保健師

- 浸水被害拡大に伴う避難所数・避難者増加
- A県災害時保健活動計画
 - 災害時にはリエゾン保健師として管轄する市町村へ派遣
- リエゾン保健師
 - 被災地を管轄する保健所との連絡調整
 - 市町村の保健医療福祉調整本部への支援
 - 市町村保健師への補助等
- 被害情報と応援要請に基づきリエゾン保健師派遣調整

リエゾン保健師を被災地へ派遣

リエゾン保健師の派遣にあたっての課題

- リエゾン保健師の派遣スキームやとりきめが十分に整理されていない。
- 被災した市町村からのニーズに対して、リエゾン保健師の数が足りない。



代案として被害の少ない保健所に管外の市町村へのリエゾン保健師の派遣を要請しましたが、その回答は厳しいものでした。A県内ではリエゾン保健師として活動ができる保健師は、管理的役割を担う保健師等の一部の層に限られており、どこの保健所もその世代の保健師が不在となる状況を懸念していました。

各保健所からは、他地域と比べ被害は少ないとはいえ直接的な被害を受けた、登庁した保健師が限られている、今後起こりえる管内の市町村からの応援要請に備えたい、保健所自体の機能再開の見通しが立っていないなど、事情は様々でした。



主人公:A県庁統括保健師

リエゾン保健師を被災地へ派遣

リエゾン保健師の派遣にあたっての課題

- リエゾン保健師の派遣スキームやとりきめが十分に整理されていない。
- 被災した市町村からのニーズに対して、リエゾン保健師の数が足りない。



リエゾン保健師の派遣

リエゾン保健師の対象を拡大

- 保健所以外の機関や本庁の保健師。
- 管理的役割を担う保健師だけでなく、入職3～4年目の若手保健師も含める。

必要とする地域に派遣

- リエゾン保健師にとっても配置経験のない地域も含む。



各保健所の事情を聞き、各保健所にこれ以上リエゾン保健師の派遣調整を求めることは厳しいと感じました。

一方で、時間がたつにつれて、リエゾン保健師の派遣を要請する市町村も増えており、第1陣派遣後も交代しながら活動を続けていくとなると、人員が足りていないことは明白でした。

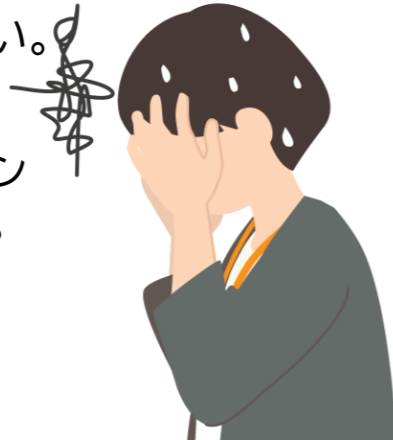


主人公:A県庁統括保健師

リエゾン保健師を被災地へ派遣

リエゾン保健師の派遣にあたっての課題

- リエゾン保健師の派遣スキームやとりきめが十分に整理されていない。
- 被災した市町村からのニーズに対して、リエゾン保健師の数が足りない。



リエゾン保健師の派遣

リエゾン保健師の対象を拡大

- 保健所以外の機関や本庁の保健師。
- 管理的役割を担う保健師だけでなく、入職3～4年目の若手保健師も含める。

必要とする地域に派遣

- リエゾン保健師にとっても配置経験のない地域も含む。



A県内の
リエゾン保健師
(管理的立場)



A県内の
リエゾン保健師
(若手)

A県の災害時における保健活動マニュアルでは、リエゾン保健師は、管理的役割を担う保健師のみを派遣する予定でしたが、甚大な被害が次々と確認されていた状況を鑑み、その対象の枠を広げました。

A県はリエゾン保健師を2名体制としていました。

リエゾン保健師の対象には3～4年目の若手保健師も対象となり、なるべく経験豊富な保健師と組み合わせようにはしましたが、それが叶わない地域もありました。

また、管理的役割を担う保健師にいたっても、一度も配置経験がない地域の保健所に行ってもらうなど、調整は非常に困難を極めました。



ポイント!



主人公:A県庁統括保健師

リエゾン保健師を被災地へ派遣

リエゾン保健師の派遣にあたっての課題

- リエゾン保健師の派遣スキームやとりきめが十分に整理されていない。
- 被災した市町村からのニーズに対して、リエゾン保健師の数が足りない。



リエゾン保健師の派遣

リエゾン保健師の対象を拡大

- 保健所以外の機関や本庁の保健師。
- 管理的役割を担う保健師だけでなく、入職3～4年目の若手保健師も含める。

必要とする地域に派遣

- リエゾン保健師にとっても配置経験のない地域も含む。



A県内の
リエゾン保健師
(管理的立場)



A県内の
リエゾン保健師
(若手)



ポイント!

統括保健師である私や本庁の保健師から、予めリエゾン保健師としての役割を伝えたつもりでしたが、現地で実際に何をするかということになると非常に難しかったようです。

初めての被災経験という保健師も多く、フェーズごとにより変わる体制や保健師の動きの見通しが掴めず、県保健師としての先見の明をもつ役割を担えておりませんでした。



主人公:A県庁統括保健師

県外からの応援派遣

現地でリエゾン保健師が上手く機能できなかったことについて、県外から応援に来られた保健師等チームにも助けていただきました。



主人公:A県庁統括保健師

県外からの応援派遣

県外からの保健師等チームの派遣状況

支援内容

- 住民の健康管理、生活衛生の支援。
- 在宅避難者の安否・健康確認。

とある被災市町村での状況

- リエゾン保健師が現場の指揮を執るが、訪問後の報告や、要支援者のリストアップやフォロー手順等の仕組みが整理されておらず、現場が非常に混乱。
- 保健医療福祉関係の調整会議に保健師が参画できておらず、町や県からの情報や方針も現場に十分に伝わっていない。



B県統括保健師

我々が応援派遣に行っているC町ですが、こどもの預け先が見つからないなどの事情で、若手保健師2名しか登庁できていない状況のようです。

県外からの応援派遣

県外からの保健師等チームの派遣状況

支援内容

- 住民の健康管理、生活衛生の支援。
- 在宅避難者の安否・健康確認。

とある被災市町村での状況

- リエゾン保健師が現場の指揮を執るが、訪問後の報告や、要支援者のリストアップやフォロー手順等の仕組みが整理されておらず、現場が非常に混乱。
- 保健医療福祉関係の調整会議に保健師が参画できておらず、町や県からの情報や方針も現場に十分に伝わっていない。



B県統括保健師

そのため、リエゾン保健師が代わりに指揮をとり、C町から指示を受けた全戸訪問について、各チームをどこに行かせるかなど采配しています。

県外からの応援派遣

県外からの保健師等チームの派遣状況

支援内容

- 住民の健康管理、生活衛生の支援。
- 在宅避難者の安否・健康確認。

とある被災市町村での状況

- リエゾン保健師が現場の指揮を執るが、訪問後の報告や、要支援者のリストアップやフォロー手順等の仕組みが整理されておらず、現場が非常に混乱。
- 保健医療福祉関係の調整会議に保健師が参画できておらず、町や県からの情報や方針も現場に十分に伝わっていない。



B県統括保健師

しかし訪問後の報告や、要支援者のリストアップやフォロー手順等の仕組みが整理されておらず、現場は非常に混乱しています。

県外からの応援派遣

県外からの保健師等チームの派遣状況

支援内容

- 住民の健康管理、生活衛生の支援。
- 在宅避難者の安否・健康確認。

とある被災市町村での状況

- リエゾン保健師が現場の指揮を執るが、訪問後の報告や、要支援者のリストアップやフォロー手順等の仕組みが整理されておらず、現場が非常に混乱。
- 保健医療福祉関係の調整会議に保健師が参画できておらず、町や県からの情報や方針も現場に十分に伝わっていない。



B県統括保健師

結果的にどの保健師等チームも、訪問はするものの、報告が適切にされず記録した紙が積み上がっている状況のようです。

県外からの応援派遣

県外からの保健師等チームの派遣状況

支援内容

- 住民の健康管理、生活衛生の支援。
- 在宅避難者の安否・健康確認。

とある被災市町村での状況

- リエゾン保健師が現場の指揮を執るが、訪問後の報告や、要支援者のリストアップやフォロー手順等の仕組みが整理されておらず、現場が非常に混乱。
- 保健医療福祉関係の調整会議に保健師が参画できておらず、町や県からの情報や方針も現場に十分に伝わっていない。



B県統括保健師

またC町の保健医療福祉関係の調整会議で毎朝定例MTGを開催しているようですが、リエゾン保健師は参加しておらず、

県外からの応援派遣

県外からの保健師等チームの派遣状況

支援内容

- 住民の健康管理、生活衛生の支援。
- 在宅避難者の安否・健康確認。

とある被災市町村での状況

- リエゾン保健師が現場の指揮を執るが、訪問後の報告や、要支援者のリストアップやフォロー手順等の仕組みが整理されておらず、現場が非常に混乱。
- 保健医療福祉関係の調整会議に保健師が参画できておらず、町や県からの情報や方針も現場に十分に伝わっていない。



B県統括保健師

全体の情報や方針について各保健師等チームに伝わっていない状況です。
この点も懸念しています。

県外からの応援派遣

県外からの保健師等チームの派遣状況

支援内容

- 住民の健康管理、生活衛生の支援。
- 在宅避難者の安否・健康確認。

とある被災市町村での状況

- リエゾン保健師が現場の指揮を執るが、訪問後の報告や、要支援者のリストアップやフォロー手順等の仕組みが整理されておらず、現場が非常に混乱。
- 保健医療福祉関係の調整会議に保健師が参画できておらず、町や県からの情報や方針も現場に十分に伝わっていない。



リエゾン保健師として派遣された保健師たちは懸命に目の前のことを対処しようと頑張ってくれていましたが、B県から指摘いただいた状況に陥っていることに気づいていませんでした。

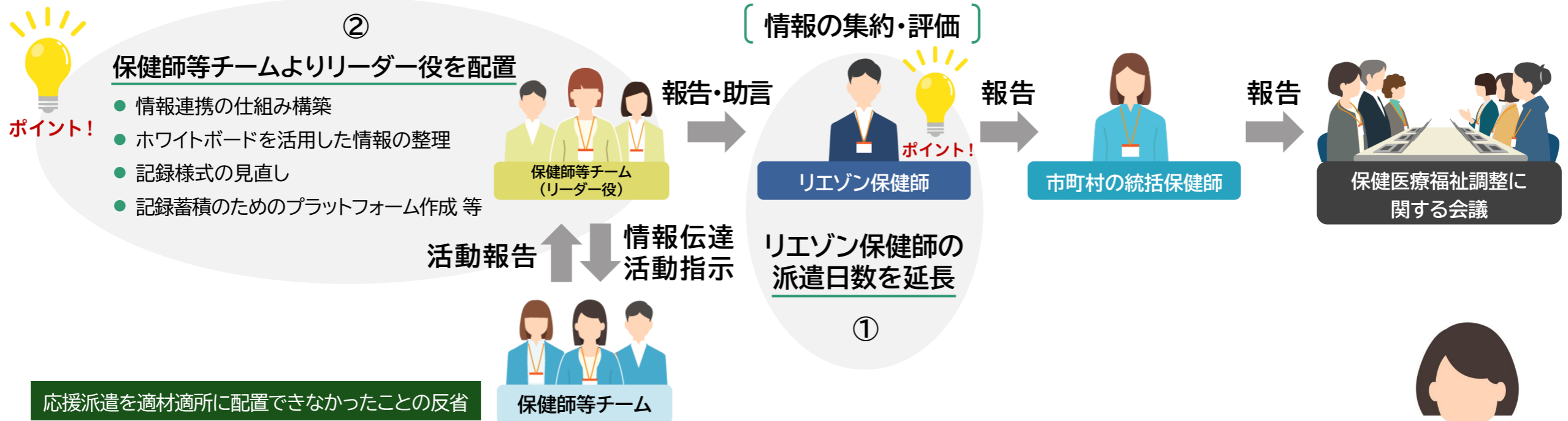
B県からのご指摘を受けて、急ぎ他のリエゾン保健師の状況も確認したことを覚えています。



主人公:A県庁統括保健師

受援体制の構築

被災市町村での受援体制



受援経験がある自治体の方々にリーダー役をお願いする中、リーダー役のなかには、予定した応援開始日より遅れて派遣された自治体もありました。

応援派遣終了後、その自治体の統括保健師より、途中から参加する中でリーダー役を担う難しさをお伺いしました。

受援経験があることをもってリーダー役を依頼するのではなく、被災市町村の支援ニーズにあわせた機能を発揮できる保健師等チームを要請してもよかったと思います。

主人公:A県庁統括保健師

受援の継続・終了

受援の継続・終了の判断への反省

支援の状況

- 被災地の復興に伴い、県内の自治体や企業を中心とした支援体制に移行
- 一方、県外からの応援派遣をいつまで継続すべきか判断できない自治体が多数

⇒事前にどのように応援派遣を終結するか考えることが大事。



主人公:A県庁統括保健師

受援の継続・終了の判断を見据えた取組ができなかったことの反省

受援の継続・終了については、県外からの応援派遣を受け入れた時点から継続的に情報収集し、考えていかなければならないと思います。

受援の継続・終了の判断をするまでの流れ

被災した市町村の情報収集・整理

(被災による影響、支援人材の確保、住民の避難状況、住民の健康ニーズ、地域性の考慮、生活再建の状況等)

被災した地域の変化に応じ人員配置を再調整し、支援体制を構築

被災地域主体による長期支援への移行に向けて計画的に支援を縮小し受援を終了



ポイント!

【参考】受援の継続・終了を判断するための情報

● 受援継続を判断するために活用する情報

支援要請

地域の被災による影響

- 人的被害
- 物的被害
- ライフライン
- 道路、交通状況、地理的状況・アクセスに関する状況
- 地域の医療機関の稼働状況
- 保健・福祉など在宅ケアに関連する地域の各機関の稼働状況
- 平常業務の継続実施の必要性

支援人材の確保(見込み含む)

- 災害支援対応のために新たに確保可能な人的資源
- 他の支援チーム要請

支援要請

地域性の考慮

- 地域の世帯(集落)分布、地形、季節、気象条件など
- 住民の年齢構成、平時の地域健康課題
- 住民気質
- 健康に影響を及ぼす可能性のある物質を取扱う施設の有無

支援要請

住民の避難状況

- 避難所、救護所、福祉避難所などの設置状況や避難状況
- 指定外避難所(自主避難)などによる避難状況
- 車中泊、テント泊などによる避難状況

支援要請

住民の健康ニーズ

- 具体的な業務内容や体制
- 二次的な健康被害への予防対策
- 要配慮者支援に関する人員の必要量
- 健康福祉調査(広域的なローラー作戦)などの必要性
- 被災前との比較による業務量の変化

平常業務の継続実施の必要性(今後の見込み)

- 平常業務の休止、縮小、再開の状況

生活再建にかかわる状況

- 応急仮設住宅、みなし仮設住宅等への移行
- 住宅再建

● 被災地の変化に応じ人員配置を再調整し、支援体制を構築する

今後の備え(1/2)

「災害時における保健活動マニュアル」にて
受援に係る内容を充実化



マニュアルへの追加内容例
災害時の保健活動に必要な保健師数の参考値を設定

フェーズ	被災状況	保健活動	必要な保健師数	...
フェーズ0	(小規模自治体) 避難所1箇所あたり避難者数...
	(大規模自治体) 避難所1箇所あたり避難者数...
フェーズ1

受援の要請、継続・終了の判断に生かせるように、フェーズごとの被災状況や保健活動をもとに、必要な保健師数の参考値を用意

リエゾン保健師の役割・業務一覧

フェーズ	活動大項目	活動小項目	チェック
フェーズ0	<input type="checkbox"/>
フェーズ1	保健師等チーム要請の検討	<ul style="list-style-type: none"> 活動期間 配置場所 ... 	<input type="checkbox"/>
	保健師等チームの要請数の判断根拠の整理	<ul style="list-style-type: none"> 避難所数 支援ニーズ ... 	<input type="checkbox"/>
	長期的な災害支援の可能性		<input type="checkbox"/>
...



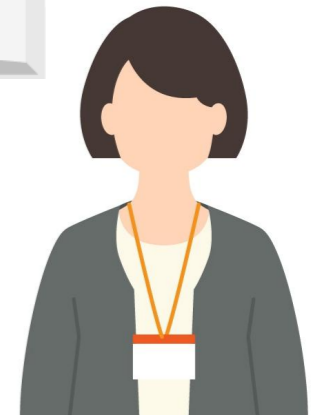
リエゾン保健師経験のない若手保健師にも確認してもらうことで、項目の整理や記載内容をさらに工夫

今後の備え(2/2)



保健師が感じた課題は保健師間で完結するのではなく、県全体の課題としてとらえるべきと考えていました。まずは県としての報告書に、保健師や保健活動に関する記載を掲載するよう各所に調整しました。掲載には非常に調整を要しました。

一見、項目が追加されただけと捉えられてしまうかもしれませんが、県の報告、県の課題として、保健師や保健活動に関することが記録に残ることは重要なことです。課題解消に向けて、統括保健師としてまずはできることから取り組んでいきます。



主人公:A県庁統括保健師